



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio
Industries and Businesses

No.862 2012年12月10日

ARIBの動き

第102回電波利用懇話会を開催
「現行受信機(2D)と互換性のある3DTV放送技術について」

11月30日(金)、第102回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催いたしました。

今回は、(株)NHK メディアテクノロジー エグゼクティブ・エンジニア 西田 泰章様を講師にお迎えし、「現行受信機(2D)と互換性のある3DTV放送技術について」というテーマでご講演をいただき、50名近い会員の皆様に受講いただきました。

講演では、現在放送されているサイドバイサイド方式における問題点を解決する新たな3DTV放送技術の一方式である Advanced Stereo 3D(AS3D)の原理やメリットについてご説明いただきました。さらに同方式では、サイドバイサイド方式と比べて解像度だけでなく画質も改善される様子を受講者が実機によるデモで体験しました。

全体をとおり受講者の高い関心を集めて熱心に聴講いただき、実用化のための課題などに関して、活発な質疑応答が行われました。



第102回電波利用懇話会の様子と講師の西田様



実機デモで Advanced Stereo 3D 方式とサイドバイサイド方式を比較体験中の受講者

ARIB で APT 研修「次世代移動通信システム」の講演・発表等を実施

12月5日(水)、当会会議室で、APT (Asia-Pacific Telecommunity : アジア太平洋電気通信共同体) 研修「次世代移動通信システム実現に向けた取り組み」(総務省等主催、ARIB 協賛)のうち、2テーマの講演とカントリーレポートの発表を実施しました。

今回は、アジア・太平洋地域 12 国の政府から 12 名の研修生 (バングラデッシュ、カンボジア、中国、インド、モルジブ、モンゴル、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム) が参加しました。

午前は、当会の佐藤常務理事から「IMT-Advanced 標準化に関する最新の活動状況」及び ITS グループ小山主任研究員から「ITS 情報通信システムの国際標準化動向」についてそれぞれ講演と質疑を行いました。

午後は、ARIB 会員各社が加わり合計 40 名近くが参加して、各国の研修生から周波数割当て、移動通信関連の規制・政策、移動通信技術・サービスに関する最新動向等について、カントリーレポートの発表と質疑を行いました。

多くの国で 2G/3G のサービスが急速に普及しており、一部の国では LTE 導入に向けた試験や実サービスが開始されているなど、アジア・太平洋地域の目覚ましい発展ぶりが紹介されました。

また、複数の国から、移動通信システム、デジタル TV 放送や ITS 情報通信システムに関する人材育成プログラムの継続的な実施や、最新動向の情報交換、人材交流など日本に対する期待が表明されました。



APT 研修に出席された方々



APT 研修の様子（講師：佐藤常務理事）



APT 研修の様子（講師：小山主任研究員）



研修者によるカントリーレポートプレゼンテーションの様子（その1）



研修者によるカントリーレポートプレゼンテーションの様子（その2）

2012 年国際電気通信連合(ITU)世界電気通信標準化総会(WTSA-12)の結果

【平成 24 年 11 月 30 日の総務省報道資料から】

平成 24 年 11 月 20 日（火）から 11 月 29 日（木）まで、アラブ首長国連邦（ドバイ）において国際電気通信連合（ITU）世界電気通信標準化総会(WTSA)が開催されました。

WTSA は、国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）における標準化活動の方向性を決める最高意志決定会議として 4 年に 1 度開催されるもので、次研究会期（2013～2016 年）の研究課題の承認、具体的な標準化活動を行う研究委員会（SG: Study Group）の議長・副議長の任命、勧告・決議の承認等が行われました。

1 日程等

日 程：平成 24 年 11 月 20 日(火)から 29 日(木)

開催場所：アラブ首長国連邦 ドバイ

参加国：105 ヶ国の情報通信関係省庁、電気通信事業者、メーカーなど約 900 名が参加。

日本からは、総務省、学識経験者、電気通信事業者、メーカー等、32 名が参加。

2 主な結果

(1) 研究課題の承認

2013 年から 2016 年までの次研究会期において、標準化活動を進める研究課題 143 件が承認されました。我が国が中心となって推進している「将来網（新世代ネットワーク）」について、ITU-T における国際標準化活動を効率的・効果的に推進するため、従来の 1 つの研究課題を 3 つの研究課題に分割し、研究体制が強化・拡充されました。[\(別紙参照](#)



(2) 決議の承認

・「レビュー委員会」の設置に関する決議 ITU-T における国際標準化活動は、情報通信技術の急速な進展や市場ニーズの変化にタイムリーに対応し、国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)、国際標準化機構 (ISO)、インターネット技術タスクフォース (IETF)、米国電気電子学会 (IEEE) 等の国際標準化機関・団体における国際標準化の状況等も考慮しながら進めていくことが求められています。このような観点から、ITU-T における将来の国際標準化の検討体制等を議論する特別委員会「レビュー委員会」の設置について我が国から決議案を提案し承認されました。また、この委員会の議長として、我が国から前田洋一氏（情報通信技術委員会）が任命されました。

※ISO: International Organization for Standardization

IETF: Internet Engineering Task Force

IEEE: Institute of Electrical and Electronic Engineers

・ITU-T 活動におけるジェンダーに関する決議 2010 年に国連女性機関(UN Women)が設置されたことを受けて、ITU-T の活動における女性の参加を更に促すため、我が国から決議の改訂を提案し承認されました。


(3) 次研究会期の SG 等の議長及び副議長の任命

今後 4 年間の各 SG 等における標準化活動を牽引する役職者として、我が国からは前田洋一氏(情報通信技術委員会)、津川清一氏 (KDDI) 及び内藤悠史氏(三菱電機)の議長 3 名の他、副議長 7 名が以下のとおり任命されました。

我が国から任命されたSG議長・副議長等

SG等	活動内容	役職	氏名(所属)	備考
レビュー委員会	ITU-Tの将来の検討体制、他の標準化機関との連携	議長	前田 洋一(情報通信技術委員会)	新任
SG3	料金及び会計原則	議長	津川 清一(KDDI)	新任
SG16	マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション	議長	内藤 悠史(三菱電機)	再任
SG9	映像・音声伝送及び統合型広帯域ケーブル網	副議長	宮地 悟史(KDDI)	再任
SG11	信号要求、プロトコル及び試験仕様	副議長	鋸吉 薫(日本電気)	再任
SG12	性能、サービス品質及びユーザー体感品質	副議長	高橋 玲(NTT)	再任
SG13	移動及びNGNを含む将来網	副議長	後藤 良則(NTT)	新任
SG15	光伝送網及びアクセス網基盤	副議長	荒木 則幸(NTT)	新任
SG17	セキュリティ	副議長	中尾 康二(KDDI)	再任
SG3 アジア・オセアニア 地域グループ	アジア太平洋、中近東地域における国際電気通信料金関係の研究	副議長	松田 康典(KDDI)	新任

(4) 勧告の承認

SG から 1 件の改定勧告案、5 件の新勧告案が提案され、WTSA においてそれぞれ承認されました。(別紙参照 )

3 今後の予定

総務省は、この結果を踏まえ、我が国の電気通信システムの発展、国際競争力強化に向けて引き続き努力するとともに、国際標準化活動が円滑に行われるよう、今後とも積極的にITUの活動に貢献していきます。

4 関係報道資料

2012年ITU世界電気通信標準化総会(WTSA-12)への対処

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin04_02000033.html

連絡先

情報通信国際戦略局通信規格課

(担当：高橋課長補佐、稲見係長)

電話：(代表)03-5253-5111(内線)5771

(直通)03-5253-5771 FAX：03-5253-5764

編集後記

東京ディズニーリゾートでのキャラクターバルーン販売が11月21日に中止になったとのニュースがありました。近年、ヘリウムガスの需要が新興国での医療・工業用途等で急増したのに加え、米国の生産設備に不具合が発生したことで供給が追いつかないことが原因らしいです。化学的に作られると思ったら化学合成はできないそうで、ほとんどが天然ガス採掘時の副産物として産出されています。限りある資源を有効に・・・。(編集子：Oz)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp